学校番号	３１３

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	国語総合　改訂版　（筑摩書房）						
副教材等	新版六訂　カラー版新国語便覧（第一学習社） 改訂版 読み・解き・覚える 日本文学史必携（第一学習社） １プラス　基礎現代文 大学入学共通テスト対策新装版　　（尚文出版） 大学入試漢字 TOP2000　三訂版（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を的確に「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につけてください。
・１年生では、代表的な評論・随筆・小説を使って、どのように読み解きていくのか学習します。また、それをもとに「書く」「話す・聞く」ことに取り組んでいきます。
・語彙力を高めましょう。そのためにも、辞書を引く習慣を身につけましょう。
・予習として本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習して下さい。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テスト（漢字・語彙・文学史など）、定期テストは学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に考えや思いを表現・伝達することができる。
・人間関係において、相手を尊重しつつ相互の理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート） 定期考査 小テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
四月	随想の内容を理解する	【近代以降】 随想『虹の雌雄』	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとする。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
五月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『水の東西』 評論『テルミヌスの変身』	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
六月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『羅生門』	○			◎	○	a:人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

七月	短詩形文学を味わう短歌・俳句	【近代以降】 教科書に掲載された俳句と短歌	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 b:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 c:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
八月・九月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『清兵衛と瓢箪』 小説『神様』	○			◎	○	a:人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
十月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『考える身体』 評論『貧困は自己責任なのか』	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

十一月	小説の内容を理解する	【近代以降】 小説『セメント樽の中の手紙』	○			◎	○	a:人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d: 人、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
十二月	随想の内容を理解する	【近代以降】 随想『ある時間、待ってみてください』	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとする。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
一月・二月	評論の内容を理解する	【近代以降】 評論『ホンモノのおカネの作り方』 評論『バイリンガリズムの政治学』	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d: 文章に描かれている情景を読み取り、人物の行動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d: 記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c：書く能力
d:読む能力　　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「a:関心・意欲・態度」と「e:知識・理解」については、すべての単元に位置づけて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「b:話す・聞く能」「c：書く能力」「 d:読む能力」）に関わる観点には◎を付している。